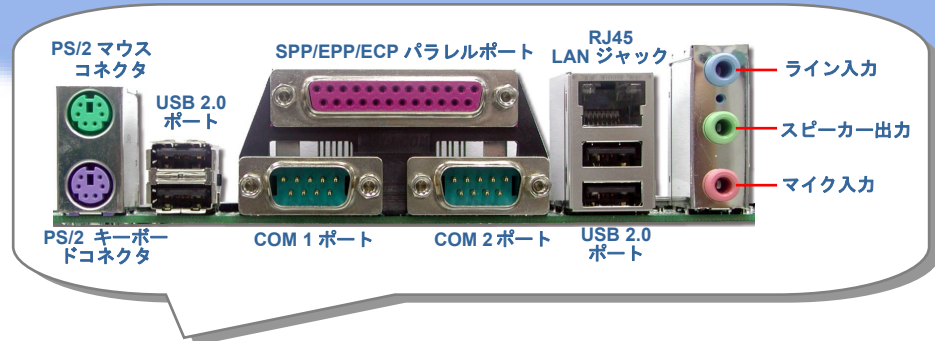
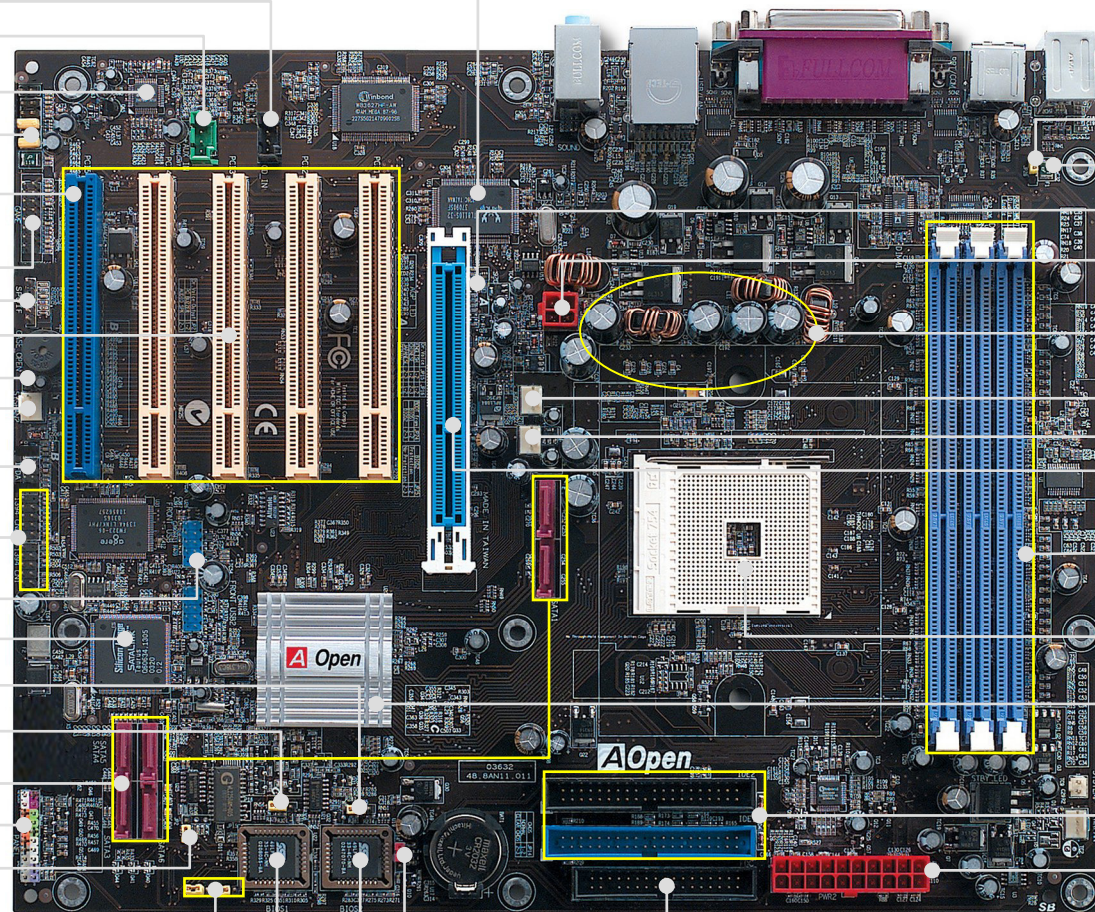


ミニシステムガイド n250a / n250a-FR / n250a-L



- Realtek Gigabit LAN チップ (n250a-FR および n250a-L 用)
- Realtek 10/100Mbps LAN チップ (n250a 用)
- CD-IN コネクタ
- AUX-IN コネクタ
- Onboard AC'97 CODEC
- フロントオーディオコネクタ
- 独立電源 PCI スロットで
大消費電力 PCI カードをサポート
(n250a-FR のみ)
- ゲームポートコネクタ
- S/PDIF コネクタ
- 32 ビット PCI 拡張スロット x5
- ケース解放センサコネクタ
- SYSFAN2 コネクタ
- IrDA コネクタ
- IEEE1394 コネクタ x2
(n250a-FR のみ)
- USB 2.0 コネクタ
- Silicon Image Serial ATA コントローラ
(n250a-FR のみ)
- JP25 BIOS 保護ジャンパー
(n250a-FR のみ)
- JP24 BIOS レスキュージャンパー
(n250a-FR のみ)
- Serial ATA ポートは
150 MB/s 転送速度をサポート
- フロントパネルコネクタ
- JP2 スピーカー出力ジャンパ
(n250a-FR のみ)
- JP15/JP16 Dr.ボイス II 言語設定ジャンパ
(n250a-FR のみ)
- ダイハード BIOS x2 (n250a-FR のみ)
- JP14 CMOS データクリアジャンパ



- JP28 PS2 キーボード/マウスウェイク
アップジャンパ
- リセッタブルヒューズ
- AGP 保護 LED
- 4 ピン 12V ATX 電源コネクタ
- 3300μF 低 ESR コンデンサ
- CPUFAN コネクタ
- SYSFAN1 コネクタ
- AGP 8X 拡張スロットは
8X AGP カード(2.1GB/s)をサポート
- 184 ピン DIMMx3 で
DDR400/333/266 を
最大 3GB サポート
- 754 ピン CPU ソケット、電圧およびク
ロック自動検出機能付き、AMD™ Athlon™
64 CPU をサポート
- NVIDIA nForce3 250 チップセットで
DDR400/333/266
および AGP 8X をサポート
- IDE コネクタ x2
(ATA66/100/133 をサポート)
- ATX 電源コネクタ
- FDD コネクタ

AOpen は製品仕様および本出版物の記載事項について、将来予告なしに変更する権利を有します。

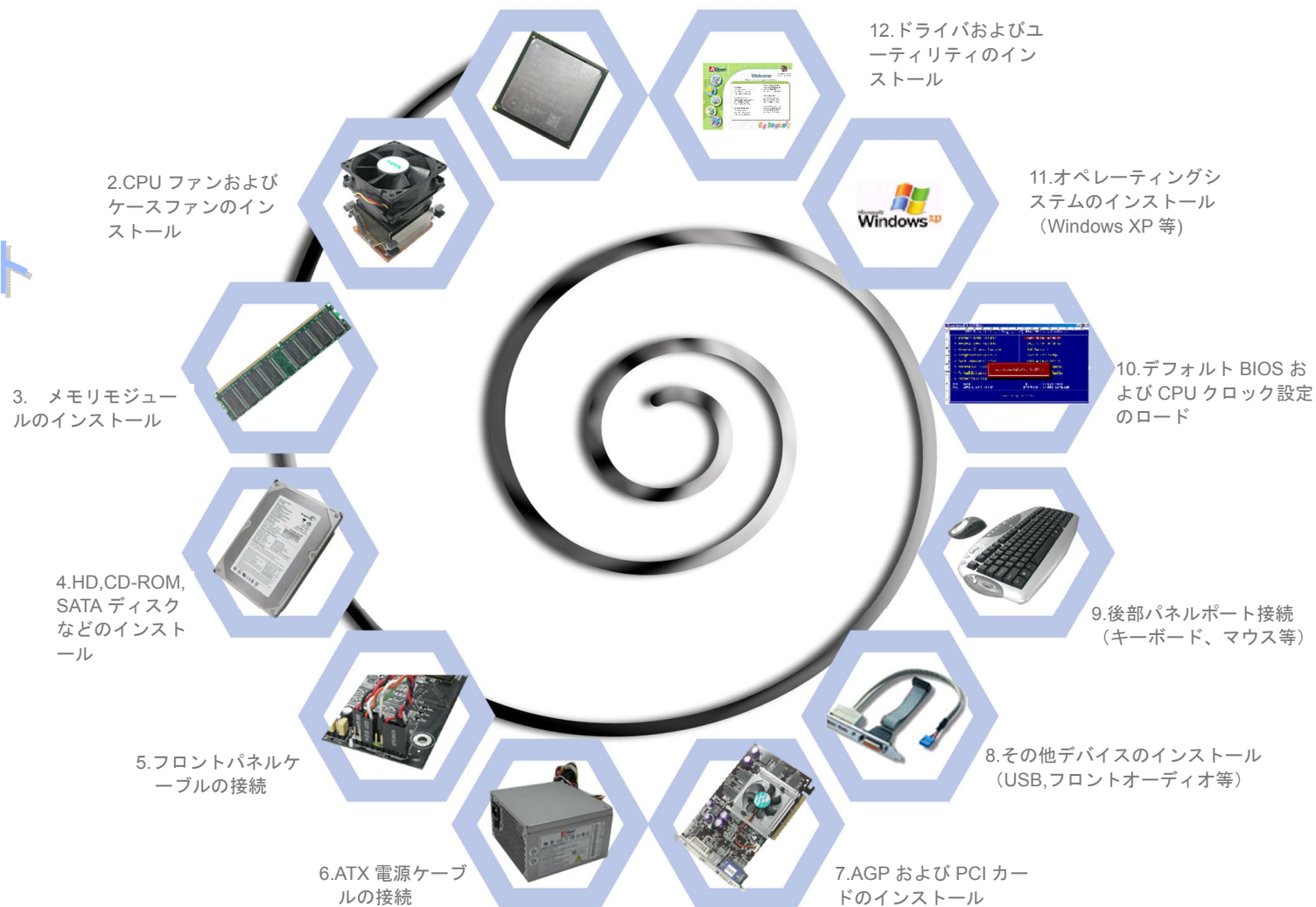
インストールの準備

当マザーボードをインストールするのに必要な情報は全て、このイージーインストールガイドに記載されています。さらに詳細な内容についてはオンラインユーザーズマニュアルがボーナスパックCDに収録されています。地球環境保護へのご協力に感謝いたします。

付属品チェックリスト

- イージーインストールガイドx1 式
- ユーザーマニュアルx1 式
- 40 芯線 IDE ケーブルx 1 本 (n250a-FR のみ)
- 80 芯線 ATA 133 ケーブルx 1 本
- フロッピードライブケーブル x 1 本
- Serial ATA ケーブルx 1 本
- Serial ATA 電源ケーブルx 1 本
- IEEE 1394 ケーブル x 1 本(n250a-FR のみ)
- USB 2.0+ゲームポートケーブルx1 本(n250a-FR のみ)
- S/PDIF ケーブル x 1 本(n250a-FR のみ)
- ボーナスポック CD x 1 枚
- Norton Anti-Virus CD x 1 枚
- Silicon Image Serial ATA ドライバディスクx 1 枚 (n250a-FR のみ)
- I/O シールドx 1 式

DIYでインストール



PART NO: 49.8AN02.J01

DOC. NO: N250AFR-EG-J0404A



1. CPU のインストール

当マザーボードは AMD® Athlon 64 Socket 754 CPU をサポートしています。CPU をソケットに挿すときは CPU の方向にご注意ください。

CPU ソケットレバー

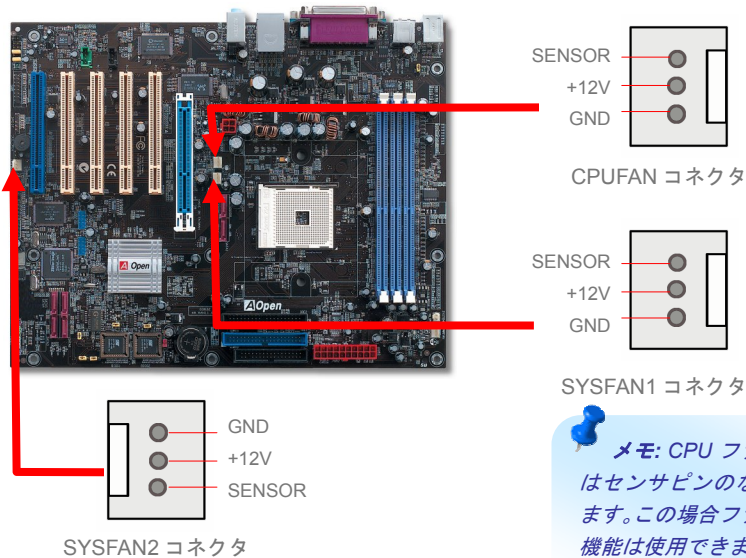


1. CPU ソケットレバーを 90 度引き起こします。
2. ソケットの1番ピンを確かめCPU上部の(ゴールドの)切り欠き部分を確認します。1番ピンと切り欠き部を合わせます。これで CPU をソケットに差します。
3. CPU ソケットレバーを戻すと、CPU のインストールは完了です。

ご注意: CPUソケットの1番ピンとCPU切り欠き部分が合っていないとCPUに損傷を与えません。

2. CPU およびシステムのファンのインストール

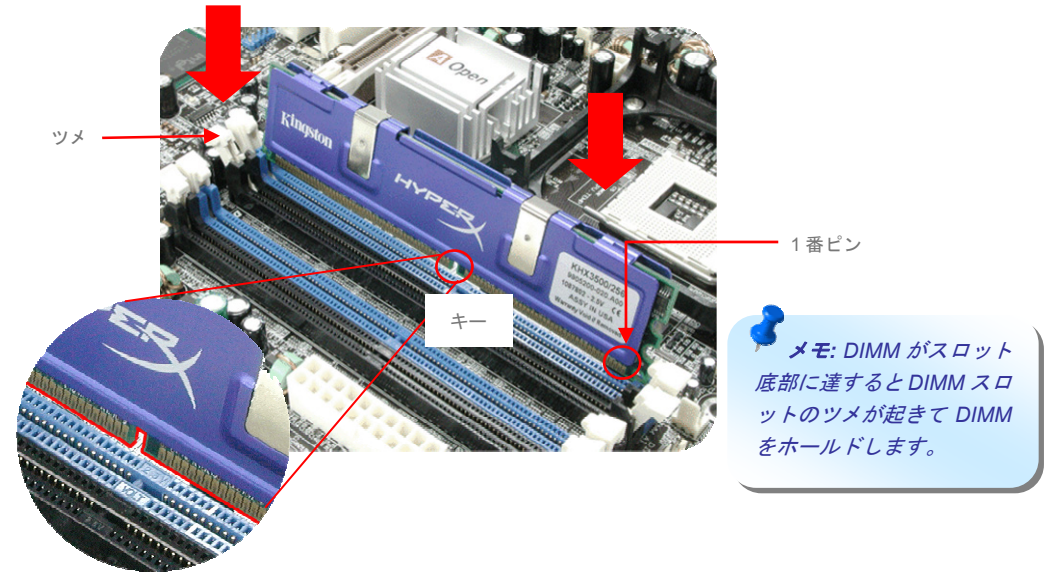
CPU ファンケーブルは、3 ピンの CPUFAN コネクタに接続します。ケースファンがある場合は、これを SYSFAN1 または SYSFAN2 コネクタに接続できます。



メモ: CPU ファンによってはセンサピンのないものもあります。この場合ファンのモニター機能は使用できません。

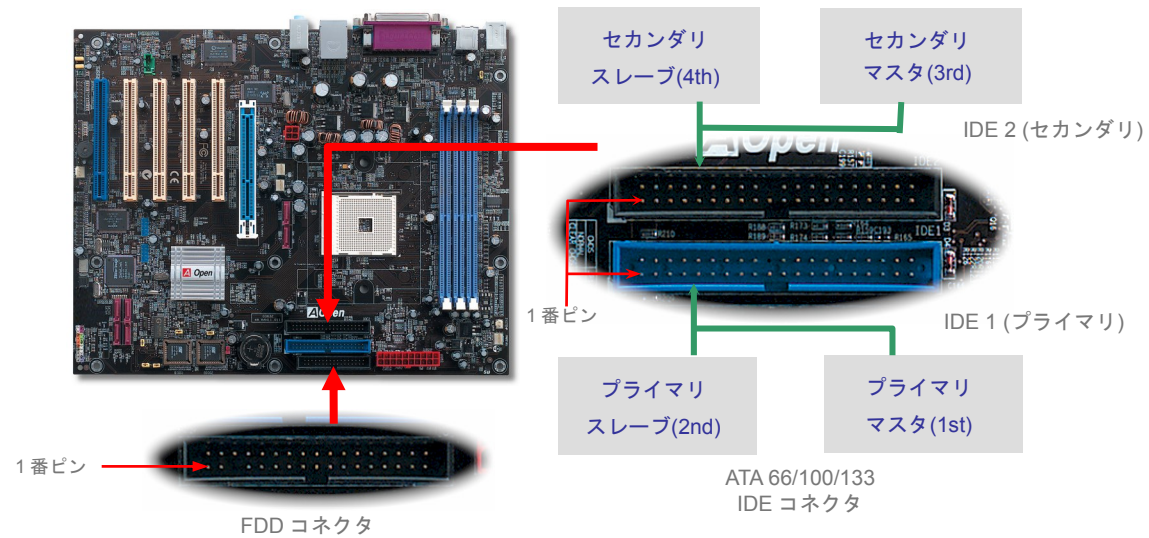
3. メモリモジュールのインストール

DIMM スロットはネイビーブルーとエレクトロニックブルーで容易に判別できます。モジュールを両手で DIMM スロットにまっすぐ静かに、きちんと止まるまで差します。



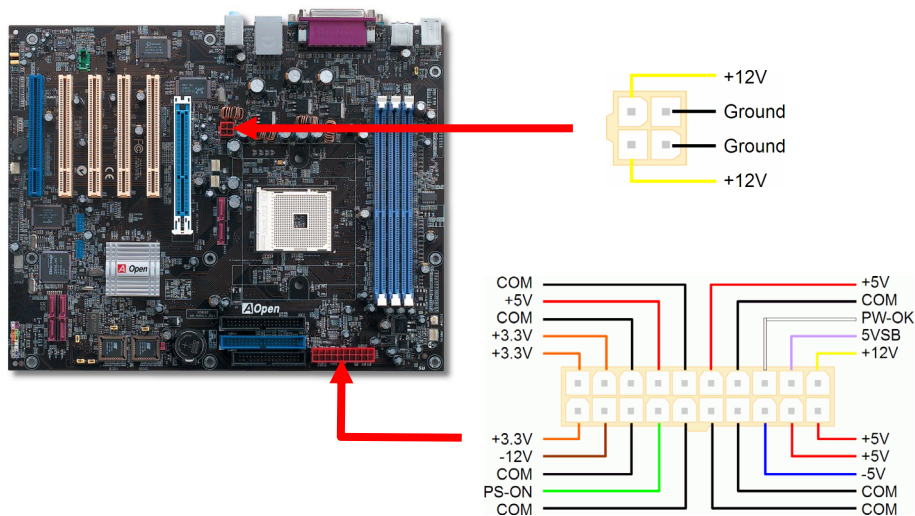
4. IDE およびフロッピーのケーブルの接続

34 ピンフロッピーケーブルおよび 40 ピン、80 芯線 IDE ケーブルをフロッピーコネクタ FDD および IDE コネクタに接続します。1 番ピンの向きにご注意ください。向きを間違えるとシステムの故障の原因となります。



5. ATX 電源ケーブルの接続

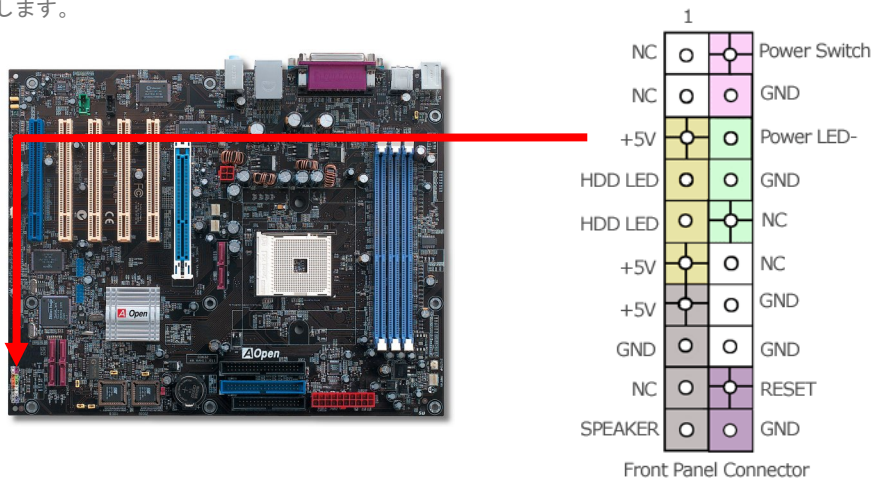
当マザーボードには下図のように 20 ピンおよび 4 ピンの ATX 電源コネクタが使用されています。差し込む際は向きにご注意ください。20 ピン ATX 電源コネクタより先に 4 ピン 12V ATX コネクタを接続することを強くお勧めします。



6. フロントパネルケーブルの接続

電源 LED、スピーカー、リセットスイッチのコネクタをそれぞれ対応するピンに差します。BIOS セットアップで“Suspend Mode”の項目をオンにした場合は、ACPI および電源の LED がサスペンドモード中に点滅します。

お持ちの ATX の筐体で電源スイッチのケーブルを確認します。これは前部パネルから出ている 2-ピンメスコネクタです。このコネクタを **SPWR** と記号の付いたソフトウェア電源スイッチコネクタに接続します。



7. 電源オンおよび BIOS 設定のロード

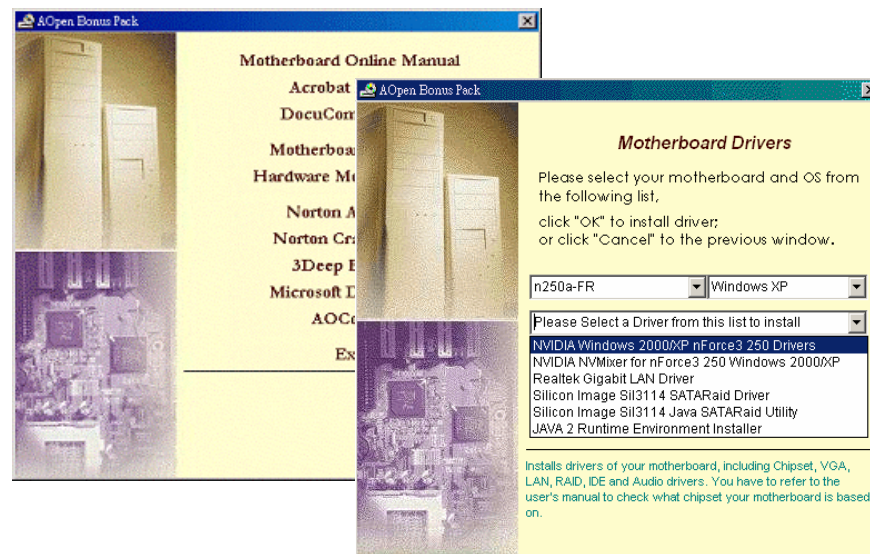
ジャンパ設定およびケーブルの接続を終了したら、電源をオンにし、BIOS セットアップに入ります。これには POST (電源オン時のセルフテスト)中にキーを押します。“Load Setup Defaults”を選ぶと、推奨される最適な性能に設定されます。

Del



8. AOpen ボーナスパック CD

ボーナス CD ディスクのオートランメニューがご使用いただけます。ユーティリティまたはドライバを選び、型式名を指定してインストールを完成させます。



CPU 電圧およびクロックの設定

CPU コア電圧の設定

当マザーボードは電圧 ID (VID)機能で電源オン時に CPU 電圧の自動検出が可能です。ただし、ユーザーがオーバークロックを望まれる場合に備え、BIOS から 1.10V~1.85V の範囲で設定可能です。時として本来のコア電圧より少し高めに設定すると、CPU のオーバークロックがより順調に行われる場合があります。

CPU クロックの設定

当マザーボードは CPU ジャンパレス設計なので、CPU クロック設定は BIOS の 1MHz ステップ CPU オーバークロック機能から行います。CPU コアクロック = CPU FSB クロック x CPU レシオ。ただし、現在市場に流通する CPU は“倍率固定”、すなわちユーザーによる CPU レシオは調節不可能で、オーバークロックには CPU FSB クロックのみが調節可能です。

(オーバークロックはユーザーご自身の責任で行ってください!!!)

BIOS Setup > Frequency / Voltage Control > CPU Speed Setup

CPUレシオ	4x~25x、1xステップ
CPU FSB (マニュアル調節)	FSB = 200 MHz-250 MHz、1 MHzステップ CPUオーバークロックによる

CPU	CPU コア	CPU ク ロック	L2 キャッシュ	レシオ
Athlon 64 2800+	1800MHz	200MHz	512KB	9x
Athlon 64 3000+	2000MHz	200MHz	512KB	10x
Athlon 64 3200+	2000MHz	200MHz	1024KB	10x
Athlon 64 3200+	2200MHz	200MHz	512KB	11x
Athlon 64 3400+	2200MHz	200MHz	1024KB	11x
Athlon 64 3400+	2400MHz	200MHz	512KB	12x
Athlon 64 3700+	2400MHz	200MHz	1024KB	12x

メモ: CPU クロックはたびたび変更されています。当インストールガイドを入手された時点でも、より高速の CPU が市場に出回っているかもしれません。この一覧表はユーザー皆様の参照用です。詳細はお買上げ点にお問い合わせください。

メモ: オーバークロックによってシステムがハングまたは起動不能になった場合は、<Home>キーを押すだけでデフォルト設定に戻せずし、5秒間待って AOpen “Watch Dog ABS” がシステムをリセットしてハードウェア自動検出を再度行うようにもできます。

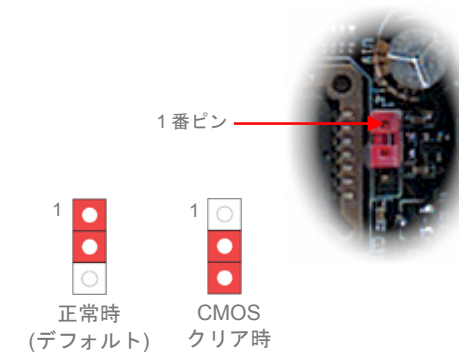
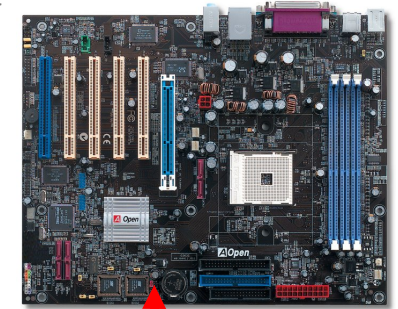
警告: CPU レシオを、ご使用中の CPU に合わせて調節した後で、新たな CPU に交換する場合、交換時に<Home>キーを押すか、CMOS クリアを行ってデフォルト設定に戻してください。そうしないと、システムは以前の CPU 設定を新たな CPU に適用してしまいます。

警告: NVidia nForce3 250 チップセットは最大200MHzのシステムクロックおよび66MHz AGPクロックに対応します; より高いクロック設定はシステムに重大な損傷を与える可能性があります。

JP14 による CMOS のクリア

CMOS をクリアすると、システムをデフォルト設定値に戻せます。以下の方法で CMOS をクリアします。

1. システムをオフにし、AC コードを抜きます。
2. コネクタ PWR2 から ATX 電源ケーブルを外します。
3. JP14 の位置を確認し、2-3 番ピンを数秒間ショートさせます。
4. JP14 を通常動作時の 1-2 ピン接続に戻します。
5. ATX 電源ケーブルをコネクタ PWR2 に差します。



1 番ピン

正常時
(デフォルト)

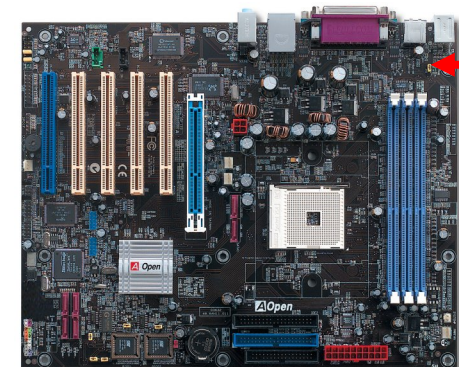
CMOS
クリア時

ヒント: CMOS クリアが必要な場合は?

1. オーバークロック時の起動失敗...
2. パスワードを忘れた...
3. トラブルシューティング...

JP28 キーボード/マウスウェイクアップジャンパ

当マザーボードは PS2 キーボード/マウスウェイクアップ機能を有します。接続されている USB キーボードやマウスの動きでシステムがサスペンド状態からレジュームする機能のオン/オフには JP28 を使用します。工場デフォルト設定は“オフ”(1-2)ですが、ジャンパー位置を 2-3 にすることでこの機能がオンになります。



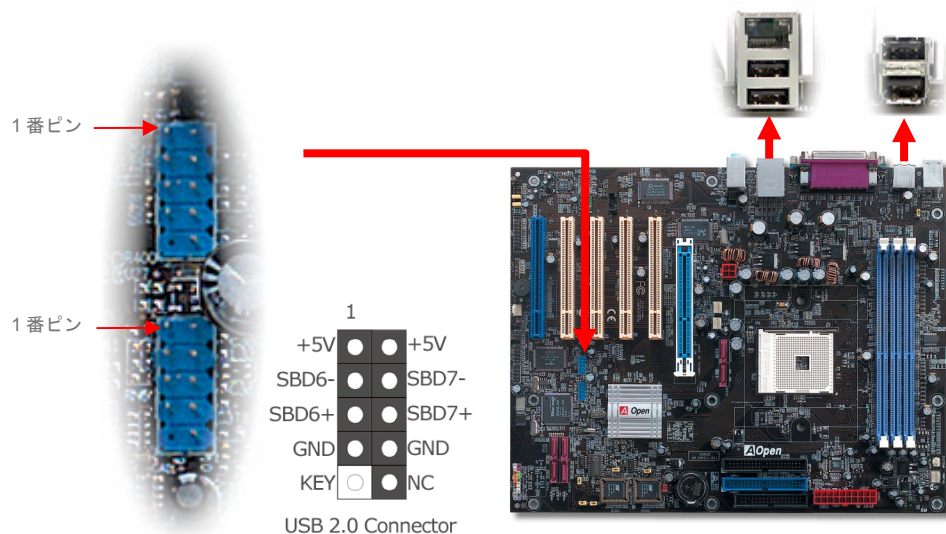
1 番ピン

オフ
(デフォルト)

オン

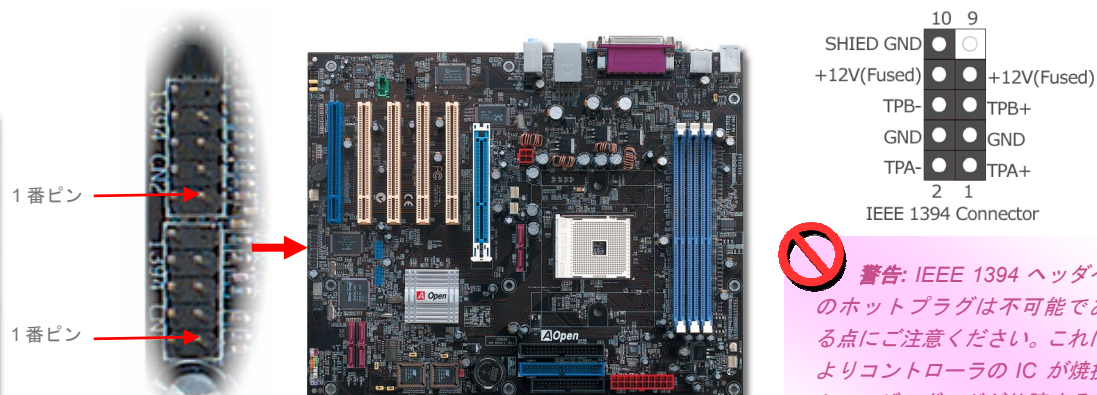
USB 2.0 コネクタ

当マザーボードは 8 個の USB 2.0 ポートを装備し、マウス、キーボード、モデム、プリンタなどの USB 機器が接続できます。後部パネルに 4 個のポートがあります。適当なケーブルにより、フロント USB コネクタから USB モジュールまたはケースのフロントパネルに接続できます。



IEEE 1394 コネクタ (n250a-FR のみ)

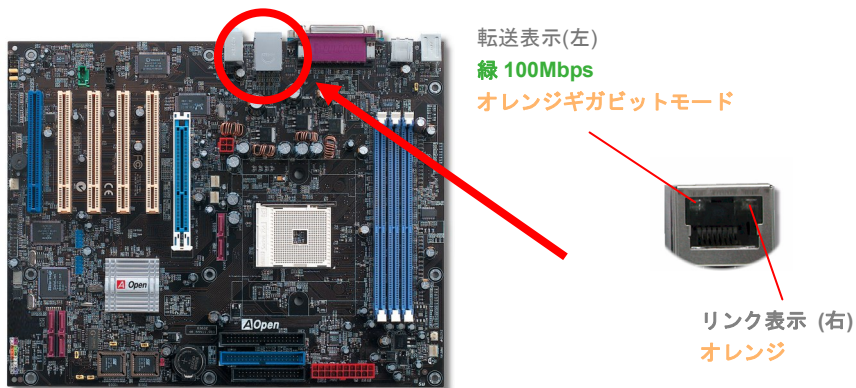
当マザーボードにオンボード装備されている AGERE 1394 コントロールチップにより、IEEE 1394 は最大 400Mb/s という、従来の USB 1.0/1.1 の 12Mbps より格段に高速の転送速度を実現します。これで IEEE 1394 インタフェースはデジタルカメラ、スキャナー、その他 IEEE 1394 装置など高速データ転送性能を必要とするデバイスの接続に使用できます。デバイスへの接続には適切なケーブルをご使用ください。



警告: IEEE 1394 ヘッダへのホットプラグは不可能である点にご注意ください。これによりコントローラの IC が焼損し、マザーボードが故障するおそれがあります。

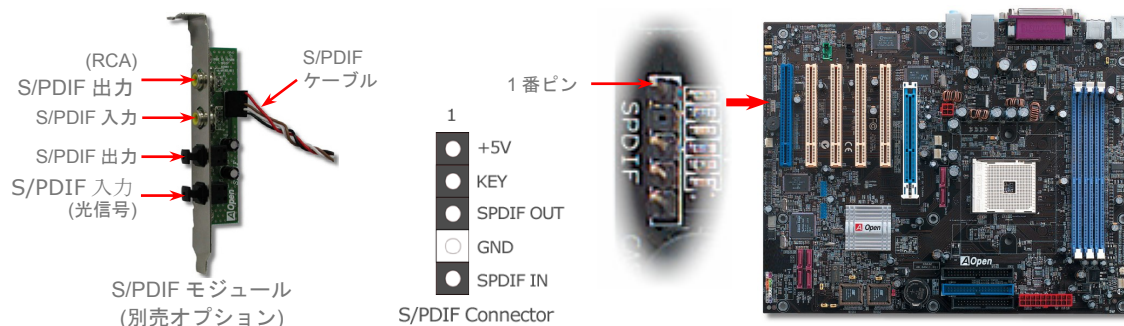
オンボード Gigabit LAN (n250a-FR および n250a-L)

オンボードの高性能 Gigabit LAN コントローラにより、当マザーボードでは、10/100/1000 Mbps(n250a では 10/100 Mbps)イーサネットがオフィスやホームユースで利用可能です。イーサネット用 RJ45 コネクタは USB コネクタ上部に位置します。右側の LED はリンクモード表示で、ネットワークにリンクしている場合はオレンジに点灯します。左側の LED は転送モード表示で、データ転送速度が 100Mbps (10Mbps は消灯)の場合は緑に点灯、ギガビット転送モードではオレンジに点灯します。この機能のオンオフは BIOS から簡単に設定できます。



S/PDIF コネクタ

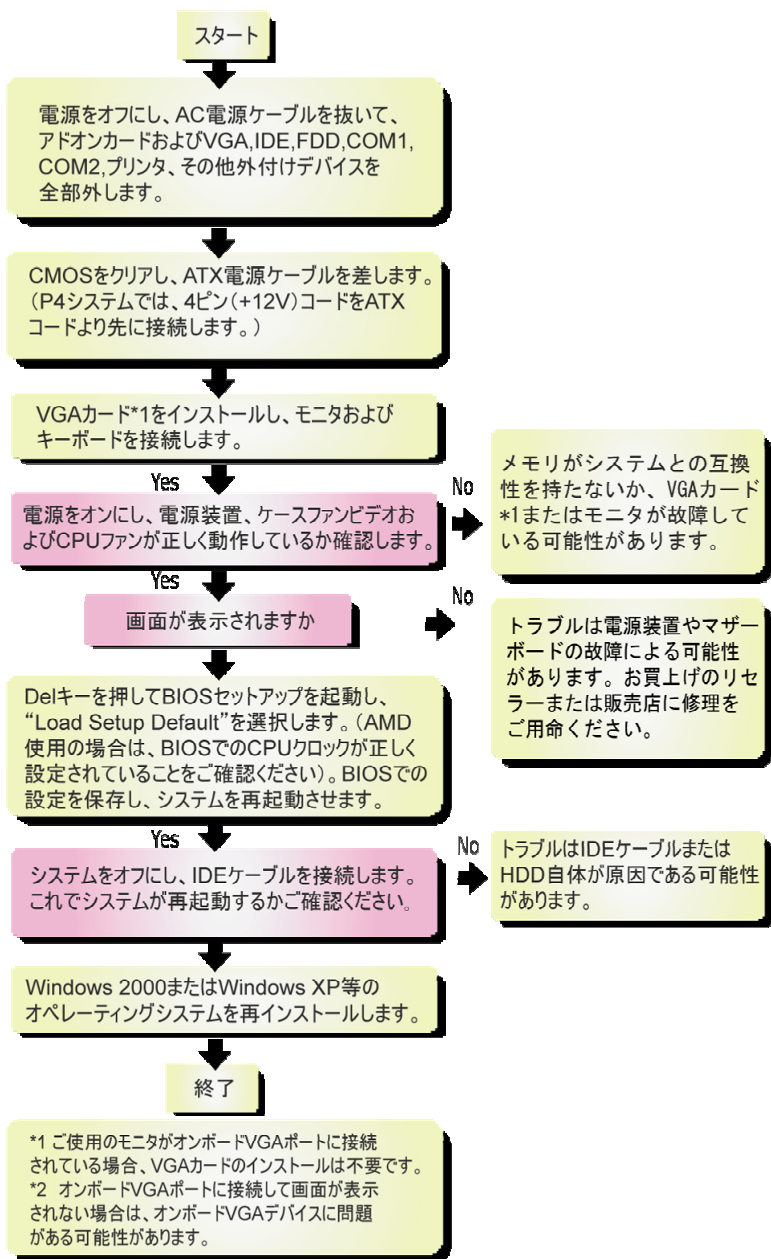
S/PDIF (Sony/Philips デジタルインタフェース)は最新のオーディオ転送ファイル形式で、アナログに取って代わるデジタルオーディオを光ファイバー経由で楽しめます。専用オーディオケーブルにより、SPDIF コネクタと別の S/PDIF デジタル出力をサポートする S/PDIF オーディオモジュールを接続します。図示されているように通常 S/PDIF 出力は 2 つあり、一方は大部分の消費型オーディオ製品に対応する RCA コネクタ、他方はより高品質のオーディオに対応する光コネクタです。出力と同様、モジュールの入力コネクタに RCA または光信号オーディオ製品を接続して、お持ちのコンピュータからサウンドを出すことも可能です。ただし、当機能の長所を最大限活かすには SPDIF デジタル入出力を SPDIF デジタル入出力対応スピーカー/アンプ/デコーダに接続する必要があります。





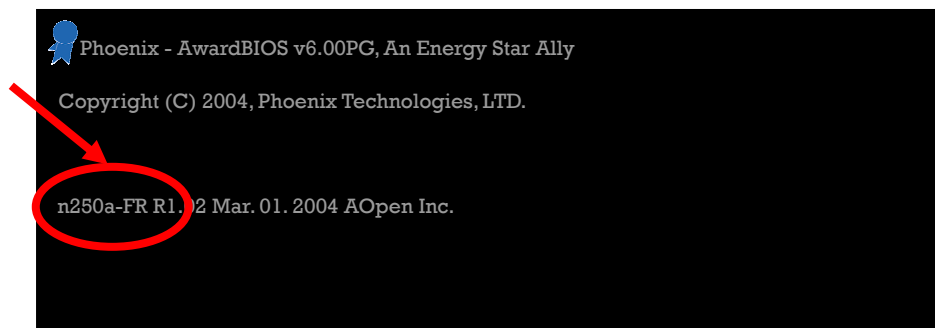
トラブルシューティング

システム起動時にトラブルが生じた場合は、以下の手順で問題を解決してください。



型式名およびBIOSバージョン

型式名およびBIOSバージョンは最初の起動画面(POST画面)の左上に表示されます。以下が一例です。



n250a-FRはマザーボードの型式名で、R1.02がBIOSバージョンです。

お買上げのマザーボードの登録

AOpen 製品をお買上げいただき、ありがとうございます。お買上げのマザーボードは<http://club.aopen.com.tw/productreg/> から登録いただきますと、Club AOpenの会員となり、AOpenからの質の高いサービスが優先的にご利用いただけます。また、スロットマシンゲームに参加してAOpenからの景品獲得もできます。登録の際には下記の情報をご用意ください。型式名、パーツ番号(P/N)、シリアル番号(S/N) およびお買上げ日。パーツ番号およびシリアル番号はバーコードラベルに印刷されています。バーコードはパッケージ外側またはPCBのコンポーネント側に付いています。以下が一例です。



パーツ No.

シリアル No.

P/N: 91.88110.201 はパーツ番号で、S/N: 91949378KN73 はシリアル番号です。

Phoenix-Award BIOS エラーメッセージ

ビープ音	メッセージ
1 短音 (ビープ)	システム起動は正常です
1 長音 - 1 短音(ビープ)	DRAMのエラー
1 長音 - 2 短音(ビープ)	ディスプレイカードまたは接続されたモニタのエラー
1 長音 - 3 短音(ビープ)	キーボードのエラー
長音(ビープ)の連続	DRAMが正しくインストールされていません



テクニカル サポート

ユーザーの皆様へ

AOpen 製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。製品を <http://www.aopen.com> で登録されると、Club AOpen のゴールドメンバーとなり、以後の質の高いサービスをご利用いただけます。ユーザーの皆様は質の高いサービスを継続的に提供するため以下の手順をご参考になり、お買い上げ地域にある当社の支社からのサポートをお受けください。ユーザー皆様のご協力により、効率的かつ最良のサービスが皆様に引き続きご利用いただけます。

ご協力に感謝いたします。

AOpen テクニカルサポートチーム

ヨーロッパ

AOpen Computer b.v.
Tel: 31-73-645-9516 Email:
Support@AOpen.NL

中国

艾爾鵬國際貿易(上海)有限公司
Tel: 86-21-6225-8622 Fax:
86-21-6225-7926

米国

AOpen America Inc.
Tel: 1-510-489-8928
Fax: 1-510-489-1998

ドイツ

AOpen Computer GmbH.
Tel: 49-2131-1243-710
Fax: 49-2131-1243-999

太平洋地区

AOpen Inc.
Tel: 886-2-3789-5888
Fax: 886-2-3789-5899

日本

AOpen Japan Inc.
Tel: 81-048-290-1800
Fax: 81-048-290-1820

ヨーロッパ Eメール: Support@AOpen.NL
太平洋地区 <http://www.aopen.com.tw/tech/default.htm>
中国: <http://www.aopen.com.cn/tech/default.htm>
ドイツ <http://www.aopencom.de/tech/default.htm>
米国 <http://usa.aopen.com/tech/default.htm>
日本 <http://www.aopen.co.jp/tech/default.htm>

オンラインマニュアル：マニュアルをダウンロードするには、まずログインに必要な言語を指定します。“Type”のディレクトリから“Manuals”を選んで、マニュアルデータベースにアクセスします。マニュアルおよびイーザーインストールガイドはAOpenボーナスパックCDにも収録されています。

<http://download.aopen.com.tw/downloads>

テストレポート：PC組立てには、互換性テストレポートからboard/card/deviceの部分をご覧になることをお勧めします。これで互換性に関するトラブルを解決できるかもしれません。

<http://www.aopen.co.jp/tech/report/default.htm>

FAQ：ユーザーがよく直面する問題やFAQ（よく尋ねられる質問）が列挙されています。ログインに必要な言語を指定してから問題の解決方法を見てみます。

<http://club.aopen.com.tw/faq/>

ソフトウェアのダウンロード：ログインして必要な言語を指定した後、“Type”のディレクトリからアップデートされた最新のBIOSまたはユーティリティ、ドライバをダウンロードしてみます。大半の場合、最近のバージョンのドライバやBIOSにより、バグや互換性の問題が解決されます。

<http://download.aopen.com.tw/downloads>

eForum：AOpen eForumは当社製品に関して他のユーザーと討論する場所で、ユーザーの問題が以前に取り上げられたか以後答えを得られる可能性があります。ログインしてから“Multi-language”で必要な言語を指定します。

<http://club.aopen.com.tw/forum/>

当社へのご連絡：ご連絡に先立ち、システム設定の詳細情報およびエラー状況をご確認ください。パーツ番号、シリアル番号、BIOSバージョンも大変参考になります。

販売店、リセラーへのご連絡：当社は製品をリセラーおよびシステム設計会社を通して販売しております。ユーザーのシステム設定に関して熟知しており、お持ちの問題の解決方法または重要な参考情報が提供される可能性があります。